

退職金で、会社にも従業員にも活力！

中退共 中小企業退職金共済制度

会社に有利
掛金は全額非課税なので節税につながります。手数料もありません。

安心・確実
国が掛金の一部を助成します。

カンタン管理
外部積立で管理もカンタン。納付状況や試算額も定期的にお知らせします。

パートさんも加入OK
パートさんのための特別掛金月額をご用意しています。

中小企業のための退職金制度「中退共」は
1959年の設立以来、100万社以上が活用してきた国の制度です。

*他の退職金・企業年金制度等とのポータビリティも可能です。

中退共制度のしくみ

- | | |
|--------|--|
| 1 加入申込 | お近くの金融機関等の窓口でお申込みください。事業主が中退共と「退職金共済契約」を結び共済手帳が送付されます。 |
| 2 掛金納付 | 毎月の掛金は全額事業主負担で、口座振替で金融機関に納付します。 |
| 3 支払い | 退職した従業員の請求に基づき、中退共から退職金が直接支払われます。 |

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

【中野工業産業協会事務局】

〒164-0001 中野区中野2-13-14 中野区産業振興センター2階

TEL: 03-3380-1122 FAX: 03-3380-1123 MAIL: info@kousankai-nakano.jp

中野工業産業協会ホームページ <http://kousankai-nakano.jp/>

中野工業産業協会 会報

No.196(令和4年1月31日)

〒164-0001中野区中野2-13-14

中野区産業振興センター2階

TEL 03(3380)1122 FAX 03(3380)1123



コロナの終息がなかなか見えてきません。デルタ株に引き続きオミクロン株があらわれ第六波を迎えることになるのかと戦々恐々としている状況ではないでしょうか。

役員会も書面議決、忘年理事会も会食なしと、対面でゆっくりと情報交換をするという本来の会の姿が取れなかったことは非常に残念なことでした。そういった状況でも、7月14日の「エリアマネジメント研究会の成果発表会」、12月9日の「東商との協賛ボーリング大会」を開催できたことは大変良かったと思っています。従来ボーリング大会後に行っていた表彰式と懇親会を兼ねたパーティーが開催できなかったことで会員企業間の親睦が十分に行えな

ったこと、また多くの協賛企業の方から頂いた豪華賞品をゆっくりとお渡しすることができず、慌ただしく大会を終了せざるを得なかったことが悔やまれますが、これもコロナ対策ということで致し方なかったことと思っています。コロナについては3回目のワクチン接種の準備が進んでいることと、重症化を防ぐ飲み薬が承認されたことなどで、収束に向かうものと期待しています。早く生活が以前の状況を取り戻すことと、疲弊している経済が復活することを祈念しています。

工産会は、役員会でテーマも特段制約されず自由に討議ができるこぢんまりとした集まりです。この場で中野の産業・商業の活性化のための意見交換を自由闊達に行い、実現のための行動へ移すことができる会だと思っています。

今年は、当会の改選期です。ぜひ元気のある方に引き受けていただき、会がさらなる発展を遂げる方向に牽引していただくことを期待しています。区長選挙、区議会議員の補欠選挙が5月22日に予定されています。中野の産業・商業の活性化、言い換えれば中野がにぎわい、中野の価値が上がり、税収の増える政策に前向きに取り組んでいただける政党・人に当選してほしいと願っています。

会長 溝口 秀二



年頭所感

前衆議院議員
松本 文明

明けましておめでとうございます。

昨年は、出井良輔君の都議会議員選挙、私の衆議院選挙で皆様から大変多くの温かいご支援を頂きました。唯々感謝です。ありがとうございました。にもかかわらずご期待に応えられず申し訳ありませんでした。

今年も昨年同様、コロナ禍で迎える新年となりました。コロナをどう封じ込むかが政治の第一課題です。水際対策、医療体制の充実、国内ワクチン、治療薬の開発などを進めながら、三回目のワクチン接種を急がなければなりません。

又、長引くコロナ禍で国民の暮らしと経済の疲弊が深刻です。仕事を失った人、収入が激減した人、学生さんからお年寄りまで困難な状況に追い込まれている人たちの悲鳴が聞こえます。企業も同様です。個人事業から大企業に至るまで、事業を継続できるか、雇用を守り抜けるか、必死の努力が続けられております。政治は国民の暮らし、事業と雇用を守り抜く責任を追っております。

昨年暮れの大型補正予算に組まれた多くの支援策、三月に成立する今年度予算を早く、身体的に国民の手元に届けなければなりません。

今年5月には、中野区長、区議会議員の補欠選挙が行われます。現区長の4年間を区民の皆様にご評価いただく選挙であります。中野区の将来を考え、中野自民党の区政へのビジョンをしっかりと訴えながら、区民の皆様率直なご意見を頂く機会にしなければなりません。

区議会議員の補欠選挙は、出井良輔君が都議会議員選挙出馬のために空席となった議席を争う選挙であり、自民党としては絶対に負けられない選挙です。中野区の自民党は、現在衆議院議員の議席を失い、都議会議員の議席を失い、区議会にあっては第一党の立場を失っております。「政治は国民のもの」との自民党立党宣言の初心に帰って、区民の声に真摯に耳を傾け、区民にしっかりと寄り添いながら、区民と共に活力に満ちていた中野自民党を取り戻すべく全力で取り組む覚悟です。

バッチをはずした私ですが、今年も皆様の声を政府と自民党と行政にしっかりと届けてまいります。元気いっぱいです。変わらぬご指導をお願い申し上げます。どうぞ健康にご留意頂いて、お健やかな良いお年となります様にとお祈りし年頭のあいさつといたします。



年頭所感

中野区長
酒井 直人

明けましておめでとうございます。中野工業産業協会の皆様におかれましては、年明けを健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、今なおウイルスとの闘いが継続している状況にありますが、そうした中でも、昨年は世界中の人々の協力のもと、周到な感染防止策を講じつつオリンピック・パラリンピックが開催されました。

また、昨秋には、子ども・若者支援センターなどの新施設がオープンするとともに、さまざまなイベントが感染症対策を講じて開催されるなど、中野に活気と賑わいが戻りつつあると感じております。ひとえに、区民の皆様、経済団体の皆様、そして関係各位のご尽力とご支援の賜物だと思っております。

中野区は、昨年3月に中野区基本構想を改定し、「つながる はじまる なかの」と題して10年後に目指すまちの姿を明らかにしました。また、昨年9月には、基本構想を実現するための5年間の総合計画となる「中野区基本計画」を策定いたしました。

この計画等の策定に当たっては、中野工業産業協会をはじめ、区内経済団体の皆様からも、様々なご提案をいただき、誠にありがとうございました。

今後区では、この計画の実現に向け、子どもたちが健やかに成長し、区民の皆様が安心して暮らし続け、経済の活性化がはかられる中でさまざまな人が活躍することができる中野を目指し、区民の皆様との対話と声を聞くことに一層努めながら、区政運営に全力を尽くしてまいります。

2022年の干支は壬寅（みずのえとら）です。厳しい冬を越えて、春に芽吹き、成長する年を意味するとも言われます。区は、ワクチンの3回目接種をはじめ、本年も引き続き感染症対策に取り組みながら、力強く経済活動や地域活動などを再開して中野に活力を取り戻し、感染症が拡大する以前よりもレジリエンス（強靭）を備えていく年としていくため、事業者の皆様を支援して参ります。

中野工業産業協会の皆様におかれましても、どうか、中野区政及び産業振興施策へのご理解と一層のご支援をお願いいたします。ともに力を合わせ、中野区に活力を取り戻し、新型コロナウイルス感染症を乗り越えてまいりましょう。

結びに、中野工業産業協会皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

中野区議会議員
内川 和久

新年明けましておめでとうございます。中野区議会議員の内川和久です。

中野工業産業協会の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより区議会に対し深いご理解とご協力、また、区内経済の活性化にご尽力を賜り、心から御礼を申し上げます。

一昨年からのコロナ禍により、今までとは異なる日常生活を強いられ、活動が縮小されてきましたが、3密を避ける努力、ワクチン接種率向上の効果が少しずつ現れ始め、新規発生患者数も減少し、昨年10月、緊急事態宣言がようやく解除されました。しかしながら、私たちの生活や社会経済の状況がコロナ禍以前の状況へ回復するための道のりは遠く険しく、懸念されている変異株による感染拡大を防ぎ、確実に以前の日常生活を取り戻すため、新型コロナとの闘いは続いています。

内閣府は、令和3年12月の月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる」、「個人消費はこのところ持ち直しており、企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる」とし、「先行きについては、景気が持ち直していくことが期待されるが、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある」とまとめています。

このような経済の状況は中野区においても例外ではなく、より一層の健全な財政運営を行わなければならない一方で、防災、まちづくり、教育、そして感染症対策など、中野区が直面している喫緊の課題の解決に向け、区民の生活を守るとともに、区の施策を区内各産業の成長や活性化につなげ、区内経済の発展に繋げていかなければなりません。そのために、区議会といたしましては、様々な課題解決において、区民の皆様の声を区政に反映させるため、二元代表制の一翼を担う使命を改めて胸に刻み、執行機関の監視や政策提案機能の充実などに努めてまいり所存です。

本年も、区民の皆様にはわかりやすく、開かれた区議会をめざし、区政の発展のため、オール中野区議会で取り組んでまいります。

工業産業協会の皆様におかれましては、昨年に引き続き忌憚のないご意見と、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、今年こそ一年が明るく希望の持てる年となりますとともに、工産会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

要望書提出

「中野区の産業活性化に関する要望」を中野区長、中野区議会議員へ提出しました。令和3年7月30日、中野工業産業協会会長＝溝口秀二氏、東京商工会議所中野支部会長＝麻沼雅海氏、区内事業者の意見を集約した要望書を中野区長並びに区議会議員に提出しました。

要望書には次の項目が取り上げられています。

I. 産業力強化体制の構築

1-1. アフターコロナを見据えた、アニメ・サブカル等のコンテンツ産業を軸とした地場産業PR拠点の設立について

1-2. 産業振興拠点集約の推進と産業振興支援機能の強化について

II. 産業振興

2-1. 地域事業者の事業継続と経営力強化への取り組み支援について

2-2. 区制度融資あっせん状発行時間の短縮化等について

2-3. 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）の利子補給制度継続について

III. 観光・地域振興

3-1. 魅力ある地域産品の創出・PR等について

3-2. 中野駅周辺におけるエリアマネージメントの推進について

IV. まちづくり

4-1. 既存不適格建築物及び用途地域等の不整合について
一事業所の事業継続、経済の持続的発展に向けた用途地域の変更検討を

4-2. 木造密集地域不燃化促進と道路整備の推進について

4-3. 空家対策の検討・推進

4-4. 中野駅周辺商店街地域におけるマンション1階店舗建物 地区計画の策定について



理事会報告

開催年月日：令和3年12月8日（水）

場 所：中野サンプラザ15階 エトワール PM 5:00

出席者：14名

議 題： 1.令和3年度 上期事業報告について 2.令和3年度 上期会計報告について
3.令和3年度 上期労働保険報告について 4.令和3年度 下期事業計画について
5.会議及び事業日程

以上の議題について理事会が開催され、すべて原案通り承認され終了しました。

（本年度は懇親会中止）

令和3年12月9日（木）14チーム、42名の多くの参加を頂き開催することが出来ました。
皆様におかれましては熱戦を展開され、無事成功いたしました。
又、ご協賛・ご協力各社のご尽力により出来ました事を、主催者として厚く御礼申し上げます。

順位	団体名	平均スコア (1人当たり2ゲーム)
1	タックコンサルタント(株)①	332.3
2	大樹生命株式会社	277.6
3	株式会社中野サンプラザ	274
4	西武信用金庫本店①	273
5	タックコンサルタント(株)②	261
6	本田恵一とゆかいな仲間たち	249
7	西武信用金庫中野北口支店	247
8	西武信用金庫本店②	243
9	石田プレス株式会社	241
10	株式会社七星化学研究所	218
11	株式会社スペース②	216.3
12	株式会社みずほ銀行荻窪法人部	208
13	株式会社スペース①	202.6
14	宮園オート株式会社	200.6

【男子の部】

順位	個人名	合計スコア
優勝	島野 陽一	338
準優勝	駒井 有隆	338
3位	森 千城	323

【女子の部】

順位	個人名	合計スコア
優勝	渡辺 玲子	281
準優勝	瀧沢 旬	265
3位	北村 菜穂	262



御協賛・御協力各社御芳名（順不同）
宮島物産(株)・大樹生命保険(株)中野営業部・金剛産業(株)・(株)七星科学研究所・宮園オート(株)
(株)中野サンプラザ・西武信用金庫中野北口支店・西武信用金庫本店・大成食品(株)・(株)川越屋
アサマコーポレーション(株)・(株)マルマンストア・タックコンサルタント(株)・(株)スペース
フジキン光来(株)・松本文明事務所・石田プレス工業(株)・(有)B. I. Sデザイン研究所・
東京商工会議所・中野工業産業協会

今回は光学機器メーカーの株式会社清和光学製作所さんを訪ねました。
創業者の鈴木清太郎氏は、戦争中中島飛行機と立川飛行機が生産していた大日本陸軍一式戦闘機（愛称 隼）の部品を作る旋盤工として出発しました。

一方、現在の環状7号線から環状6号線の間地域やその先の国道17号線沿線には、軍用光学機器（カメラ、望遠鏡、双眼鏡、潜望鏡、測量機、砲隊鏡、照準品、等々）を作る会社、例えば、現在のオリンパス、ニコン、キャノン、トプコン、富士フィルム、等々があり、これらに使用される部品の製造にかかわる会社（レンズ、塗装、メッキ、機械加工など）が中野にも多くありました。

戦後、平和産業を目指すということで、鈴木氏は顕微鏡づくりを原島さんという方に教わり、杉並区方南町に鈴原産業を興しここで顕微鏡を作り始めました。

昭和22年（1947年株式会社清和光学製作所の創業の年）には、現在の弥生町に鈴木製作所を興し、顕微鏡を製造、学校用顕微鏡を中心に製造販売を行い、昭和30年（1955年）当時納入先であった東京大学教授より製品の優秀さ・正確さなどからコレクト（CORRECT）と命名され、これを商標とするようになりました。

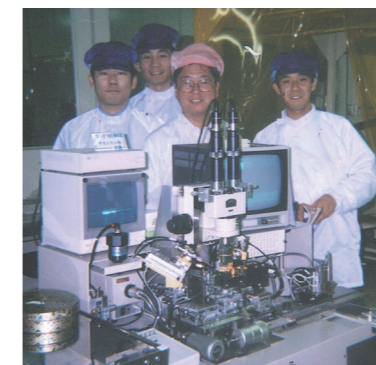
昭和39年（1964年）、鈴木製作所を改組し株式会社清和光学製作所（鈴木清太郎氏の「清」と平和の「和」とって社名とした）を設立、鈴木清太郎氏が代表取締役社長に就任しました。

この会社で鈴木氏と一緒に旋盤工として働いていた方が、現社長の尊父に当たる岡崎春雄氏で、経営能力を見込まれたこともあって、鈴木氏の娘婿となり、昭和56年（1981年）には、代表取締役社長に就任、平成12年（2000年）には岡崎伊佐央氏が代表取締役社長に就任し現在に至っています。

独自性と妥協しない精神、お客様の声に耳を傾けその問題を解決することを大事なこととし、光学技術を基礎に最先端ハイテク分野でかつニッチトップな世界を目指すことをビジネスモデルとして経営を進め、大きく事業の幅を広げ、伸ばしてきています。

事業の内容と詳細は、以下のURLからご覧頂けます。

株式会社清和光学製作所ホームページ
<https://www.seiwaopt.co.jp/>



昭和50～60年代 VTR調整機
(東芝磯子工場にて)



昭和30～40年代
小中学校用教育顕微鏡



戦時中の創業者 鈴木清太郎 最前列右から3番目（真ん中）



創業者 鈴木清太郎



創業者 長女 鈴木博子